



(株)ウエムラテック

平成3年6月旧上村にて創業、2輪、4輪車の部品等生産、従業員(現)135名、年間売上げ28億円の実績。

No.22  
H21.4.30発行

議会だより



# あさぎり

<p><b>町民の声</b></p> <p>攻める行政で町づくりを共に努力して</p> <p>16 P</p>	<p><b>議会活動</b></p> <p>15 P</p>	<p>常任委員会報告 町の新しい風</p> <p>13 ～ 14 P</p>	<p><b>一般質問</b></p> <p>十名が登壇</p> <p>8 ～ 12 P</p>	<p>補正予算</p> <p><b>まちづくり基金条例</b></p> <p>6 ～ 7 P</p>	<p>特別会計予算</p> <p><b>主な質疑内容</b></p> <p>4 ～ 5 P</p>	<p><b>一般会計</b></p> <p>二十一年度当初予算</p> <p>2 ～ 3 P</p>
---	--------------------------------	--	---	--	---	--

# 95億円

対前年比

# 微増

三月定例議会

平成二十一年第一回定例会は三月十日から十九日まで十日間の日程で開催されました。

町長の平成二十一年度施政方針が述べられ、一般質問では十人が登壇し二十年度を振り返っての取り組みなどについて質問がありました。

あさぎり町まちづくり基金条例の制定、各公共施設指定管理者の指定や、一般会計ほか特別会計当初予算及び補正予算など五十九議案、議員発議案三件、及び農業委員の推薦など上程された議案はすべて原案どおり可決しました。

総務

研修費補助	200万円
電算機器設定委託料	2,574万円
まちづくり基金積立金	5億円

当初予算の主なもの

民生

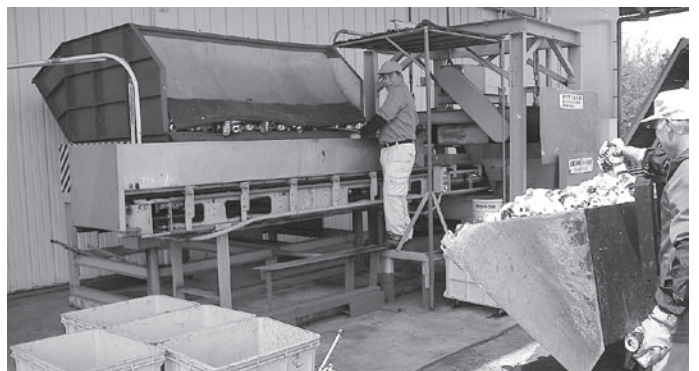
国民健康保険特別会計繰出金	1億6,837万円
社会福祉協議会運営費補助金	5,047万円
ヘルシーランド指定管理委託料	4,404万円
温泉交流センター管理委託料	5,620万円
病院建設事業負担金	1億7,470万円
ごみ処理費負担金	1億8,116万円
し尿処理費負担金	2,738万円



安心・安全な牛乳生産

農林

農業再生チャレンジ事業 (薬草ミシマサイコ栽培)	1,200万円
農業振興事業補助金 (施設整備、機械導入等)	2,450万円
畜産振興事業補助金 (家畜・機械導入等)	1,000万円
鳥獣被害防止事業	631万円



アルミ缶のプレス作業 (リサイクル事業)

# 5.4%アップの

## 商工

まちづくり交付金事業 (あさぎり駅前開発事業)	9,080万円
地域ブランド商品開発事業	545万円
グリーンツーリズム推進事業	284万円



開発予定のあさぎり駅前周辺

## 土木

道路新設改良事業(8路線)	1億5,618万円
道路改良事業(2路線)	7,466万円
住宅建設事業	6,081万円



快適な公営住宅

## 消防

上球磨消防組合負担金	2億6,641万円
------------	-----------



地域の防災に貢献する消防団

## 教育

統合中学校整備準備費	726万円
文化ホール改修事業	2,158万円



文化の拠点 須恵文化ホール

## 公債費

償還費(元金・利子)	16億1,069万円
------------	------------

# 当初予算に対する 主な質疑内容

**問：**農業後継者対策をどの様に考えているか。

**答：**農業の作物毎のビジョン



を策定し、所得の向上を図るとともに、学校で生徒に収穫の喜びを体験させていく事が重要と考えています。

**問：**交通指導員は行政区五十三区に一人ずつ配置されているが、行政区を統合した区と比較して適正か。



**答：**活動に支障がある地区は、隣地区と協力していただきたい。

**問：**現金又は物品を業者に預けておく等の不正経理はないのか。

**答：**二回調査を実施した

が、その様な取り扱いはありません。

**問：**須恵住宅の造成事業はどの様なものか。

**答：**建設予定地の造成設計と地質調査です。

**問：**ゴミ処理負担金が多いので、ゴミの量を減らす様、努力すべきではないか。

**答：**減量化に向けて分別収集を人吉市球磨郡全体を挙げて取り組めます。



**問：**畜産振興事業の補助金の内訳はどの様なものか。

**答：**畜産

農業機械の導入、優良牛の導入、肥育素牛の導入等



です。

**問：**緊急雇用対策の農業用水路等管理作業等はどの様な事か。

**答：**中小河川

等のどこもだれもやらない状況の雑草地帯対策を講じます。



**問：**中学校で生徒と先生、保護者と先生の間で気持ちのずれはないのか。

**答：**視点というものを設けて、人事異動等に対応します。



**問：**公共施設のトイレの水酸化は？

**答：**施設によっては予算化している。残る施設も検討中である。



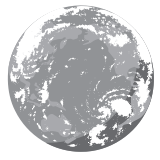
**問：**町長部局の職員定数条例二四八名、実員二一四名、定数条例の改正の考えは。

**答：**平成二十六年で二二〇名を適正人員として計画する。



**問：**今回の予算は攻めの予算なのか。バイオマスター構想は後退か。

**答：**緊急雇用ということで攻めていく。地球に優しい環境づくりで効率上がる取組を目指す。



**問：**民間で出来ることは民間でと言うことで、須恵深田の公営住宅建設を民間に開放する考えは。

**答：**国の補助で公営住宅を整備する。



**問：**一般財源から国保への繰出しがあるが、六月の補正が心配だ、方向性は、**答：**段階的に修正をして、正常化したい。

**問：**個人・法人税ともにこのような不景気の中で落ちこむのではないか。

**答：**今、申告をとっています。昨年から伸びていないということ、予算は減額して計上しています。

**問：**中山間地域等直接支払交付金制度の今後の見通しは。



**答：**二十一年度で一応切れますので、この制度を継続していただきたいと国に要望しています。





### 国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ  
22億2,470万円。



### 老人保健医療特別会計

歳入歳出それぞれ  
1,229万円。



### 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ  
1億5,251万円。



### 介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ  
14億5,601万円。

### 介護サービス特別会計

歳入歳出それぞれ  
3,703万円。

## 特別会計当初予算

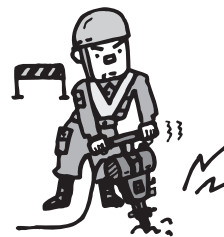


### 水道事業特別会計

収益的・資本的収支の支出額  
1億4,274万円。

### 簡易水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ  
5億3,081万円。



### 下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ  
10億2,823万円。



### 上財産区特別会計

歳入歳出それぞれ  
5,966万円。



### 球磨郡障害認定審査事業特別会計

歳入歳出それぞれ  
992万円。



### 介護認定審査事業特別会計

歳入歳出それぞれ  
3,870万円。

# まちづくり基金条例の制定(三月定例議会)

## ※まちづくり基金条例の制定

これは合併特例債をもつて本年より五年間で二十五億円を限度として積み立て、財政上必要な時に使用する基金です。

## ※あさぎり中学校開校準備委員会条例の制定

これは十二月定例議会で可決された統合中学校開校に向けての準備委員会です。

## ※奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定

奨学金基金与額が大学月額四万円を五万円、専門学校三万円を四万円、高校一万五千円を二万円に改正され四月一日より施行されます。

返済期間も従来より延長されました。

## ※免田駅前駐車場条例の一部を改正する条例

「免田駅」が「あさぎり駅」に改められたための改正です。

## ※球磨郡公立多良木病院組合規約の一部を変更する規約

病児・病後児保育事業の運営が平成二十一年四月一日より施行されます。

## ※議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

厳しい財政状況に鑑み、費用弁償の支給を廃止するものです。



除幕式 (左より)

- 尾鷹 一範 あさぎり町商工会副会長
- 加藤 美紀 JAくまあさぎり支所免田店長
- 平田 智秀 南稜高校生徒会長
- 愛甲 一典 あさぎり町長
- 橋爪 和彦 あさぎり町議会議長

## あさぎり町農業委員会委員の推薦

農業委員会委員の議会推薦委員(農業委員会等に関する法律第十二条第一項第二号)は次の三人と決定し、可決決定されました。



松田 三佐子さん

免田東四八五番地  
昭和二十二年九月九日



宮原 久子さん

岡原北三二四番地  
昭和三十八年六月三十日



板橋 和代さん

深田東六〇二番地  
昭和三十三年四月二十一日

## 議会事務局人事異動

お世話になりました。

- 元田 照代 健康福祉課へ
- 野田 豊光 環境整備課へ

お世話になります。

- 森光やすみ 町民課より
- 大林 弘幸 総務課より

# 緊急経済対策補正予算可決 (平成21年2月18日)

(地域活性化、生活対策臨時交付金関連)

## 総額 13億4千4百万円

### ◆地域情報基盤整備等事業

(光ファイバー網構築による防災無線、インターネットサービス等)

5億6,500万円

### ◆子育て支援特別手当事業

(支給対象となる子ども1人36,000円)

1,400万円

### ◆生活幹線交付安全対策整備事業

(町道及び通学路等の整備) 2億1,600万円



免田川右岸舗装箇所

### ◆防犯対策整備事業

(防犯灯設置事業等)

800万円

### ◆定額給付金事業

(18歳までと65歳以上20,000円、その他12,000円)

2億8,600万円

### ◆農林業振興事業

(農業用排水路の整備、農業用機械の導入)

1億8,000万円



排水路改修

### ◆教育施設整備事業

(耐震診断、パソコン購入等)

5,600万円



校舎の耐震診断

### ◆消防施設整備事業

(消防詰所、簡易業務用無線整備等)

1,900万円

#### 二月臨時議会 補正予算 主な質疑内容

問：町道及び通学路整備の路線名は。

答：道路改良(体育センター通り、大島・清水線、川瀬・中島線、永峰・加茂線、庄屋橋取り付け道、神殿原線、免田川右岸舗

装、上久保・瓜尾線舗装工事等)を予定。

問：地域活性化、生活対策臨時交付金事業の購入等は町内優先か。

答：できるだけ町内を活用する。  
問：用地補償費等の見直しは。  
答：支障がない様努力する。

◎二十年度単年度収支見込みは

収支決算三億円の黒字を目指す



議員 澁田勇一

澁田 昨年三月議会で述べられた施政方針を振り返り、取り組んできた事についての評価、検証内容を尋ねる。

町長 財調基金積立額



ハローワーク業務

澁田 昨年十一月実施した町民アンケート調査結果は、町民の満足度と行政への関心を把握する事ができた。回収率四七・三%、満足度調査の中で「わからない」十八%、「ふつ

約三億円増額し十四億円を見込む。地方債は前年比五億二千万円減少、現在高を百二十九億円を見込む、実質単年度収支三億円の黒字を目指し、経常収支比率九十ポイント目標と厳しい中に改善に向かっていく。企業誘致で二社進出、又許可を得てハローワークの業務の窓口を設置した。

う」や、不満「不満」の三つを併せた「満足していない取り組み」が全体の五三%、今後の取り組みに役立つ分析ができた調査目的は達成できたと思う。将来政策の「選択と集中」を進めるためにも数年おきの調査により意識の変化を読み取り町総合計画策定に活用していきたい。『その他の質問』

1. 行財政改革の成果
  2. 情報システムの完成
- 予定内容を質問した。

◎公約の企業誘致五社の決意は

正直言っても難しい



議員 浦本秀正

浦本 町長に就任して二年間を振りかえり、町民に対して誓われた所得向上・若者の定住など公約の達成度は？

町長 小学校六年までの医療費の無料化や町長の報酬カットなどそこそこやっているかな

と自分自身では思っている。農業の方、建築業界や商業もさらに厳しくなっているのが現実ではないかと思ってる。須恵地区の若い人の住宅確保で子どもの数を少しでも確保できると思う。

浦本 町長は常々、企業誘致五社を基本の決意と言われているが、旧岡原役場、旧免田給食センターも誘致企業としてカウントするのか。

町長 企業誘致は正直言っても難しい。郡市で時々話しはあっているが、ここ半年はトーンダウンしている。

町長 企業誘致は正直言っても難しい。郡市で時々話しはあっているが、ここ半年はトーンダウンしている。

質問 登壇



フラワーアレンジITUKI



◎不況による地方交付税の影響は

臨時財政対策債で賄う



宮原盛幸議員

宮原 地方交付税の総額は所得税の三二%、法人税の三五・八%、酒税の三二%、消費税の二九・五%、たばこ税の二五%から成りたっているが景気の落ち込みにより各税が減少されることが予想される。総額でどの程度予想しているのか。あさぎり町にどの程度影響があるのか。

宮原 町に對する影響は地方交付税で二・七%伸びとされ、正式には七月の本算定によるが二十年度並の額は見込んでいる。臨時財政対策債は五五%増の五億六三三〇万円が見込まれる。

宮原 岡原地区はまだ児童保育は行われていないが、児童の放課後の

安全等により立ち上げの計画があると聞くが。

町長 岡原地区の児童保育の立ち上げということで教育環境の整備に関心を持ってやられることに感謝申し上げます。支援としても同じようにしたい。場所は岡原保健センターでスタートしていいのではないかと考える。



一般 10名

◎グリーンツーリズムの推進は

専任職員三人体制で本格的に取り組む



山口和幸議員

山口 施政方針で交流人口を増やすとあるが、グリーン・ツーリズム(都市と農村の交流)を、町づくりにとどのようにつけていくのか。

産業振興課長

農家民宿・農家レストラン・農業体験等の人材の確保育成、ふるさと会や福岡圏域との交流事業の促進、地域資源の発掘、磨き上げや実践者等の質の向上をさらに図り、顧客の満足度を高め、リピート率を上げていくことによつて、交流人口の増加を図り、活性化につなげたい。

◎男女共同参画社会に向けての取り組みは

基本計画を策定する

山口 社会の一人一人がお互いに認め合い、多



マイ焼酎づくりの田植

様な生き方が認められるような男女共同参画社会の実現に向けてどのように取り組むのか。

町長 政府は男女共同参画社会の基本施策の中で基本計画を策定し、又県も基本的な計画を定めており、役場組織全体挙げての取り組みとして推進会議をつくって、懇話会の両方で勉強会をしながら、あさぎり町男女共同参画計画を策定する。

◎ 少子化対策の拡充を

真剣に取り組み



愛甲利孝議員

◎ 白髪岳一帯を町の活性化に

**愛甲** 白髪岳一帯は、町が誇れる大きな財産

であり、宝だと思おう。この大自然、文化財等をも町の活性化に活かしていく考えはないか。

**愛甲** 少子化現象が加速的に進行している。この少子化対策は、最重要課題だと思ふ。具体的な対策をどう講じていく考えか。

**町長** 若い人たちがあさぎり町、そして球磨人吉に希望をもって元気に生活できる環境づくりの必要性を強く感じている。この少子化の問題は、あさぎり町の一番の大きな課題であると思っている。若者が残れる町づくりというところで、真剣に取り組んでいく。

**町長** 白髪岳は、子供のときからずっと見て来ている山で、この一帯は、非常に価値ある地域だと思っ



まこと保育園児

白髪岳の魅力を活かして、町民の皆さんにも親しんでもらいながら、この白髪岳あるいは白髪岳の周辺を活かした取り組みを進めていきたい。

◎ 緊急雇用対策の取り組みは

緊急雇用特別事業補助金を活用し取り組み



小見田和行議員

**小見田** 緊急雇用創出事業等の県の補助事業で人材バンクの設立に活用できないか。

**町長** シルバー人材センターもあるので検討する課題もある。

◎ 十代で考える食糧問題と学校給食のあり方について

考える時と思うが食についての学習の実情と学校給食との関連について伺う。

**教育長** 中学校の社会科、家庭科で学習する。「自国の食糧を自給できる国が独立国である」との記述もある。しかし給食においては金額・量の問題で理想的に地産地消とはなっていない。

**小見田** 世界的不況の中で、当町においても失業者の増加が危惧される。各自治体も独自の対策を打ち出しているが、あさぎり町の雇用対策はどう考えているか伺いたい。

**町長** 厚生労働省の外部団体の研修を受け、ハローワークと同じような仕事が出る。現在二名でこの業務を行っているが、もう一名確保し、より充実した雇用紹介活動を進める。

**小見田** 食糧自給率は40%と低迷し食を外国に依存しているが、将来も安定的に輸入できるのか色々な国際的問題で楽観できない。「子供達にも、ずっと先の子ども達も食べていけるよう」に将来を担う子供達と一緒に



学校給食センター

◎ 通学路の安全は

道路維持予算で対応



皆越てる子議員

**皆越** 小学校の通学道路の整備は十九年度・二十年度計画に対してどれだけ実行されたのか伺う。

**環境整備課長** 小学校の通学路につきましては、教育委員会と関係機関との協議のもとに危険箇所を調査して整備を行なっているところがございます。改良が済んでいる路線においては歩道がない箇所等では緊急的に、改修が必要な箇所等については道路維持の予算において対応したいと思えます。

**教育長** 登下校の安全確認については、四月当初必ず小中学生どこでも一緒ですけれども通学路の確認というものは必ず子供達にさせます。

それに伴いまして学校の方、もしくは担任の方でその通学路につきまして危険箇所とかそういうことは十分指導を致します。

**皆越** 犬の放し飼いが、子供達に不安を与えた様だが、町の対応は。



犬の放し飼い

**環境整備課長** 犬の放し飼いをしないようにと、定期的に町の広報紙、回覧のチラシ等でお願いをしている状況ですが、特に新学期になりまして新しい小学生も通行していきますので再度チラシ等で喚起の呼びかけを行っていきたいと考えています。

し飼いをしないようにと、定期的に町の広報紙、回覧のチラシ等でお願いをしている状況ですが、特に新学期になりまして新しい小学生も通行していきますので再度チラシ等で喚起の呼びかけを行っていきたいと考えています。

◎ 中学校統合に関する今後の整備計画は

開校準備委員会を設置し協議を進める



榎山 保議員

**榎山** 二十四年四月から新あざざり中学校としてスタートする中でこれからの三年間通学道路、防犯対策、スクー

**町長** 通学路の安全と通学しやすい環境づくりについてはできるだけスピード感を持って整備をしていきたい。  
**環境整備課長** 中学校統合に伴い通学路整備については教育委員会に開校準備委員会を設置する。関係機関と十分

協議をし、路線を決定し事業を効果的に進めたい。

**総務課長** 通学路の防犯対策として犯罪を未然に防ぐということから防犯パトロール隊、又少年補導員等自主防犯組織による活動を行なっている。又青色回転灯を装着した防犯パトロール車の導入も計画している。防犯灯の整備については通学路の幹線道路で未整備の区間を中心に整備する。幹線道路外は準備委員会で検討

幹線道路で未整備の区間を中心に整備する。幹線道路外は準備委員会で検討



防犯灯

き年次的に整備をしていく。  
**教育課長** スクールパスについては部活動終了時間に対応できる複数回の運行を基本にしながら条例制定をお願いしている。課題や問題点を検討しながら開校に向けて安全、安心な通学体制の構築に取り組んでいきたい。

◎町長の姿勢は町益にかなっているのか

しっかりと向き合っていていきたい



溝口峰男議員

員や団体職員の声をよく、町益を損なうような姿勢はとるべきではない。

溝口 自民党あさぎり支部長である愛甲町長は、今年始め野党候補を励ます連合の旗開きに出席し挨拶をした。あさぎり町には金子副大臣、松村政務官がおられ町のために大変お世話になっている。町益のためには両名との関係は大事にしていくべきだが今後どの様にしていくのか。

町長 松村県議、金子副大臣、松村政務官ともしっかりと向き合っていていきたい。

溝口 町長から約束を反故にされたという職

しないのか。

町長 人材を派遣するというのは難しい仕事であると思う。

副町長 額面的にはいいかもしれないが実質的に本場にそれが円滑にいくのか疑問があるので現在のところ業務としていない。

『その他の質問』

1. 皆越分校の二年後について
2. 合併浄化槽補助金の拡充について
3. 三年後の中学校閉校式について
4. 夫婦岩神社周辺整備について



ふれあい物産館

◎諮問機関等の見直しは

執行部としても検討する必要がある



奥田公人議員

ンボル等制定委員会など開催されないものが三機関ある。執行部としても検討する必要がある。

◎入札監視委員会設置は

奥田 審議会や協議会等の諮問機関等が条例や規則によって定められた。これらの年間活動内容、活動日数及び出欠状況はどうなっているのか。

奥田 本町においては、談合といった事実はないと信じているが、入札の適正化と透明性を確保する為、住民代表による入札監視委員会を設置してはどうか。

総務課長 七十五機関の中には公金管理検討委員会など、役場職員のみで構成されているものが五機関、残り七〇機関については会議が開催されていないものが七機関あった。事業の完了によるものが四機関、あさぎり町シ

町長 庁内でも、こういったことはどういふうにした方がいいだろうということでも検討はしている。県からも講



師を招いて、入札制度のあり方やその制度の勉強もさせていただき、あさぎり町を取り巻く課題や、入札制度の今後の確立に向けていろいろと検討はしている。

# 常任委員会報告

# 一部事務組合議会報告

## ●総務・文教常任委員会

日時 平成二十一年二月二十日

○須恵小学校の複式学級に関する調査  
湯山小学校の四・五年生の複式学級を視察、この学校は平成十年に新築され、どの教室も採光に優れ、廊下と教室の仕切りもなく、オープンな雰囲気ながら、各部屋の独自性はよく保たれていた。複式学級のメリット、デメリット双方があるとの説明を受け、補助教員の必要性を痛感。須恵小学校では複式学級と支援学級の説明を受けた中で、複式授業の場合には下の学年は良く伸びるが、上の学年は反対となるとの経験談がありました。

## ●厚生常任委員会

日時 平成二十一年二月十二日

○町内福祉関連施設のうち四施設（しらがね寮、鐘ヶ丘ホーム、みずき園、第二つじヶ丘学園）を訪問した中で、町立しらがね寮について報告します。  
身体上または精神上著しい障害があるために独立して日常生活を営むことが出来ない生活保護者を入所させ、生活扶助を行うことを目的とした

施設で、現在定員いっぱい（五〇名）の方が入所されています。町職員二〇名、派遣職員四名が二十四時間体制で頑張っておられました。



しらがね寮の交流会

## ●建設・経済常任委員会

日時 平成二十一年三月五日

### ○産業振興課

緊急経済対策（地域活性化・生活対策臨時交付金事業）における農業用水路、排水路整備事業と畑地帯遊休農地の解消（葉草ミシマサイコ試験栽培地）の現地調査  
○環境整備課  
平成二十一年度実施予定の建設班（道路改良等）水道班（上川北地区簡易水道施設整備等）下水道班（下水道整備等）の現地調査

## ●上球磨消防組合議会

日時 平成二十一年三月五日

○平成二十一年度一般会計当初予算について  
歳入歳出予算の総額は、それぞれ五億九千万円と定める。  
原案どおり可決。

○本年度救急車が更新されます。  
現在三台ある救急車のうち、購入後十七年が経過した普通救急車が、新しく高規格救急車に更新されます。（高規格救急車とは、救急救命士が乗り込んで処置を行う救急車です。除細動器など高度医療機器を備えています。）



高規格救急車

## ●人吉球磨クリーンプラザ

○設備等の維持補修が増大  
供用開始後六年を経過し、各機械設備等の維持補修の頻度は増大傾向にあり、特に炉内耐火レンガ等の延命化が大

事。一層のゴミ減量化が求められま



段ボールによる生ゴミポスト

## ●人吉球磨広域行政組合議会

○訴訟上の和解（臨時議会）  
汚泥再生処理センター設計委託に絡む不正入札事件に伴う損害賠償請求で、東和化学より和解の申し入れ（和解金二〇〇万円程度）を可決し和解を受入れ。

汚泥再生処理センター設計委託に絡む不正入札事件に伴う損害賠償請求で、東和化学より和解の申し入れ（和解金二〇〇万円程度）を可決し和解を受入れ。

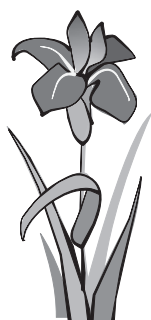
# 町の新しい風

JAくま福祉の里  
「木綿葉」(ゆうば)



施設の理念、「激動の戦後を生き抜き、農と共に生きてこられた方々や人吉・球磨の里を築いてこられた地域の方々に感謝をこめて、JAならではの、暖かい温もりのある笑いの絶えない施設づくり」

を目指し、今年二月に開所した、JAくま福祉の里「木綿葉」(ゆうば)を紹介します。場所は、須恵地区覚井、元須恵コミュニティセンターとりんどう館を「JAくま」が町より購入して、内装に手を加えて完成させたものです。その中には、りんどう館当時の施設を生かした、個浴と併設した大浴室、また、JAならではの地元の野菜たっぷりの手作り昼食など、「木綿葉」独自のサービスを心がけておられます。



また、通所介護事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業の他、JA独自の事業として、介護保険制度ではご利用できないサービスや、介護認定以外の方もご利用でき、農繁期や冠婚葬祭時、不意の外出の際にお年寄り一人を残して行けないとご心配の方もご利用頂けるよう、スタッフ18名で明るい雰囲気の中頑張っておられ、今後一層の地元への貢献とご活躍が期待されます。

## あさぎり町議会改革調査

### 特別委員会設置

委員長 櫻山 保



地方分権により二元

代表制の一翼を担う地

方議会の役割が拡大

し、これに対応でき

る議会改革を進める

ことが求められてい

ます。合併自治体と

して、真摯に議会改

革を進めることで合

併効果を早期に実現

し、真の住民自治を

確立するために議長を

除く全議員によって特

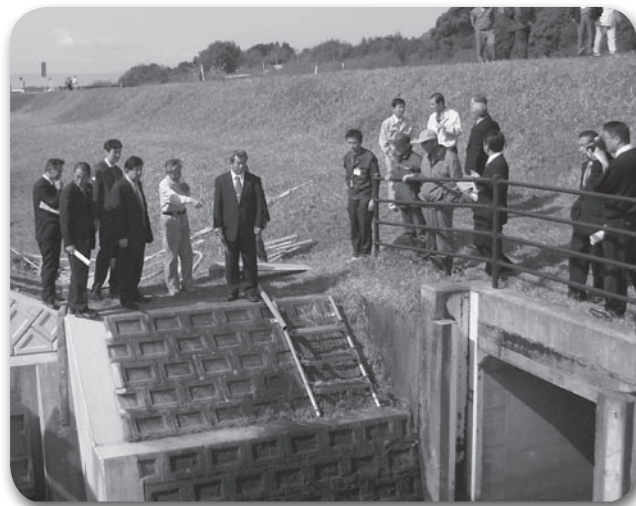


別委員会を設置したところであります。目的に添って幅広い分野でより良い改革を推進していきたいと思えます。

# 議会活動

広報特別委員研修  
鹿児島県蒲生町及び始良町  
(平成21年2月4日～5日)

伊賀川（須恵地区）浸水対策  
国交省 金子副大臣へ陳情  
(平成21年3月16日)



## 議会ひとくちメモ (3)

(町議会のことをお知らせするコーナー)

**問** 議会に委員会が設置されているようですが？

**答** あさぎり町議会に設置されている委員会には、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の三種があり、常任委員会は総務文教、厚生、建設経済の三部門に分かれ専門的な審議に当ります。

議会運営委員会は議会の運営に関する全般的な事項を協議決定します。特別委員会は臨時特定の事案について設置し、その事案の審査や調査が終了した時、消滅します。

町

民

の

声

# 攻める行政で町づくりを



須恵 恒松 太陽 たかやす

「枯渇・地球温暖化などが世の中を騒がせています。戦後、工業・IT産業で発展を遂げてきた日本も、いよいよ環境保全型・エコな社会への転換期に差し掛かってきているのではないのでしょうか。私たちの人吉・球磨も例外ではなく、現に春の黄砂は

年々酷くなり、夏は熱帯化・冬は暖冬とそれらの影響を少なからず受けています。これらの問題は私達が利便性を追及した結果、廻り廻ってきた付けであり、もう他人事ではないのです。だからこそ今、時代を先取りし、町全体で環境問題を再認識し、環境に優しい町づくりへ取り組むべきだと私は思います。大都市ではすでに資源ゴミの徹底分別、買い物袋の有料化・エコカードへの補助金制度など様々な取り組み

が行われています。それらの波がこちらまで来るのを待たば数年か十数年後になります。それより先を見据えエコな町づくりを早くから取り組むことで、熊本や九州の中でもエコモデルタウンとして注目されれば、将来のあさぎり町の在り方が違ってくると思います。守りに入り過疎化していくのではなく、攻める行政で元気な町づくりをしていって欲しいと思います。

## 共に努力して

免田 大坪 真理



「議会だより」を毎回興味

深く拝見している主婦です。私には、中三、中二、小六、幼稚園年長組の四人の息子がいますので、教育についてが最大の関心事です。その中でも常に掲載されてきた中学校統合問題が一番気になります。

上中一校へと決定した今、これからの取組みに責任を持って、子どもたちの将来につながる教育とその環境について努力していただきたいと願っています。子どもたちの成長に関わる大切なことは、目には見えない人間形成の上で一番重要な幼児期のあり方です。将来の人格が出来上がっていく過程

といっても過言ではないくらい大切な時期です。あさぎり町で育つ子どもたちは、皆平等に扱われてほしいと思います。町の保育園に通う子どもがいる家庭も、幼稚園に通う子どもがいる家庭も、同等の支援が受けられないものかと感じています。未来の町を担う子どもたちの幼児教育環境が大事に大切にされていく事を望みます。町議会議員の皆様の努力に加え、私たち町民一人ひとりも努力して、すばらしい町づくりに貢献できればと思います。

## 編集後記

昨年、議会改選があり新広報委員が決まり、一年が経とうとしていきます。その間町民の皆様に読んでもらえる「議会だより」を心がけてまいりましたが、どうしても前例主義になってしまいがちでありました。そこで、今回は広報委員一同思い切って、すっきり感を出す為に字を少なくし、臨場感を出すように写真等を多く配置してみました。読まれて如何でしょうか？ご意見を是非お聞かせ下さい。

今後とも「議会だより」が町民の皆様と議会の架け橋として情報発信できますよう広報委員一同、編集努力を致しますので宜しくお願い致します。(山口)

編集・発行責任者

議長 橋爪 和彦

広報調査特別委員会

- 委員長 刈田 勇一
- 副委員長 愛甲 利孝
- 委員 皆越てる子
- 委員 山口 和幸
- 委員 緒方 勇二
- 委員 永井 英治